

学習内容報告書 フォーマット

学校名	姫路市立家島中学校
授業者	家島中学校教職員 姫路ヨット協会 姫路海上保安部

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海の日体験セーリング

1-2. 学年

1年、3年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、特別活動、保健体育

1-4. 単元の概要

姫路海上保安部による「海の安全」についての講習。実際の生活にも関係する海辺での安全確保のための知識を得る。

姫路ヨット協会の指導の下、実際にヨットに乗船しての操船の体験。ヨットの構造や帆走の原理を学び、家島とヨットの関係についての講話などを聞く。

定期船の航路とは違う海上から、自分たちの住む家島本島をいつもは見ることのない方向から見たり、校区の男鹿島の様子を見る。

海上の漂流ゴミを間近から見ることで身近な海の環境について知る。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

地域の海の様々な魅力を再発見し、海とのつながり、社会の一員としての自覚を深めさせる。

海の魅力を知るとともに課題を発見し、その解決を図るために自分たちができることを考えさせる。

体験活動を通して自主性や、豊かな感性、情操を培う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度



自分たちの住む家島と関係の深い海での体験を通してふるさと家島の海を理解し、郷土への誇りと愛着を育み、家島を愛する生徒を育成する。

ヨット上での協働の経験を通して互いに協力する、自己責任を果たす意欲を育てる。

ルールやマナーを大切にしようとする態度を養う。

海での事故防止に関する知識を身につけ、安全を確保する。

1-7. 単元の展開（全 3時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○海辺での安全について 事故防止のため今までに身につけている知識を振り返る。 場に応じて、臨機応変に対応するための新しい知識を得る。</p> <p>○ヨット上での安全確保について 海上や船上での活動は危険が伴うことを知り、安全に体験活動をするためのルールや知識を身につける。</p>	<p>教師の指導 体験活動の趣旨、目的の説明と進行</p> <p>主な評価 関心・意欲・態度：主体性</p> <p>外部連携 姫路海上保安部 交通課 姫路ヨット協会</p> 
2 3	<p>○ヨットの構造や帆走の原理を知る 実際にヨットの船上でヨットの構造や帆走の原理、操船についての説明を受ける。</p> <p>○ヨットの操船体験 役割分担をし、それぞれの役割を実際に体験し、操船のために協働する。</p> <p>○海から校区を見る 普段利用する定期船の航路とは違った海上から校区である家島本島、男鹿島を見る。</p>	<p>教師の指導 生徒の安全確保</p> <p>主な評価 関心・意欲・態度：主体性、積極性 学び方ものの考え方 学習への主体的共同的態度</p> <p>外部連携 姫路ヨット協会</p> 

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ


単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

ヨット上での協働の経験を通し、ルールやマナーの大切さを知る。
安全にマリンスポーツを楽しむため、海での事故を防止する知識を身につける。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 生徒、教師がグループに分かれ、グループごとに姫路ヨット協会講師の指導の下ヨットに乗船。</p>	<p>○乗船の際の安全に関する説明・諸注意</p> <p>○ライフジャケットをきちんと着用させる</p>
<p>2 帆走する前にヨットの構造、今回のそれぞれの役割について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帆走する原理 ・それぞれの役割について ・家島とヨットの関係について  	<p>○姫路ヨット協会講師よりヨットの構造等の説明</p> <p>・新型コロナ感染予防、熱中症、怪我への配慮</p> <p>【評価の視点】 安全に体験するために関心を持って意欲的に学ぶことができる。 (行動観察)</p>
<p>3 セーリング体験</p> <p>説明を受けた役割をそれぞれ実際に体験する。</p>   	<p>○個々の生徒への支援</p> <p>○グループで協力できるよう支援</p> <p>【評価の視点】 説明を理解し、積極的に体験活動に取り組むことができる。 (行動観察)</p>
<p>4 船上から家島本島、男鹿島や海上の漂流物などを見る。</p>  	<p>○セーリング体験を終え、周りの様子を観察できるよう支援する。</p>

3. 今回の活動の自己評価

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止も検討したが小規模校の利点を生かし少人数のグループに分かれ活動することができた。海での体験の楽しさを十分に味わうと共に、互いに協力すること、自己責任を果たすことの大切さを学ぶことができた。

姫路ヨット協会、姫路海上保安部交通課の指導で「海の事故0」への意識が高まると共に、「海の怖さ」もあらためて感じる事ができた。

活動を通して、ルールやマナーが大切であることも実感することができた。

4. 今後の課題

地域性を生かした体験活動を推進している中、生徒数の減少に伴い活動内容が限定されつつある。体験セーリングのように工夫と連携して下さる外部の協力を得ながら、活気ある活動を推進していきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記事項なし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。